



厚生労働省北海道労働局発表
平成28年3月17日

【担当】

北海道労働局労働基準部安全課
課長 山谷 幸雄
安全専門官 渡邊 哲也
電話：011-709-2311（内3557）
FAX：011-756-0056

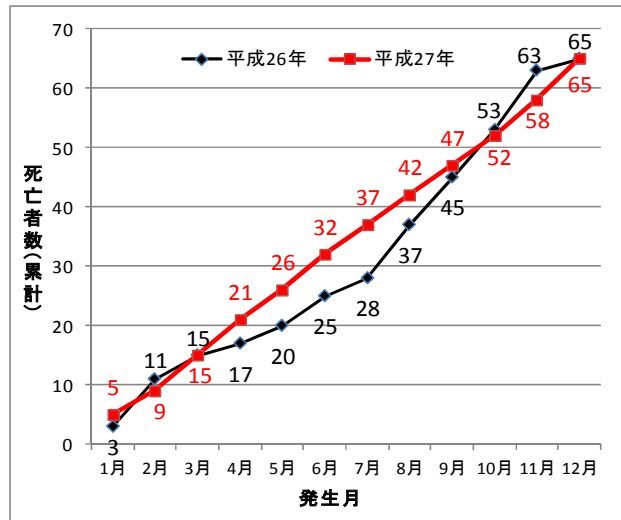
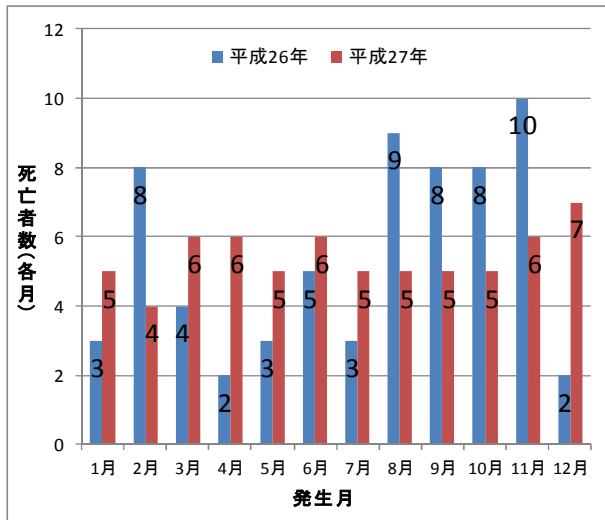
【平成27年】

死亡労働災害は速報値で前年同数
死傷労働災害は前年同期比2.3%減少

－ 平成27年の北海道内の労働災害発生状況（平成28年2月末現在速報値） －

1 労働災害による死亡者数（1月～12月）

平成27年の道内の労働災害による死亡者数は、平成28年2月末現在の速報値で65人と、前年と同数となっています。



(1) 業種別の状況【資料3、4】

業種別に見ると、「建設業」が25人（全体の38.5%、前年比3人増）と最も多く、「陸上貨物運送事業」が11人（全体の16.9%、前年比5人増）、「製造業」が7人（全体の10.8%、前年比3人増）、「林業」と「小売業」が各4人（各全体の6.2%、「林業」は前年と同数、「小売業」は前年比3人減）、「港湾運送業」が1人の順となっています。

(2) 事故の型別の状況【資料5】

災害を事故の型別で見ると、「墜落・転落」が18人（全体の27.7%）と最も多く、次いで、「交通事故（道路）」が11人（全体の16.9%）、「はさまれ・巻き込まれ」が10人（全体の15.4%）、「崩壊・倒壊」が7人（全体の10.8%）と続き、この4種類の災害で全体の70.8%を占めています。

2 労働災害による死傷者数（1月～12月）

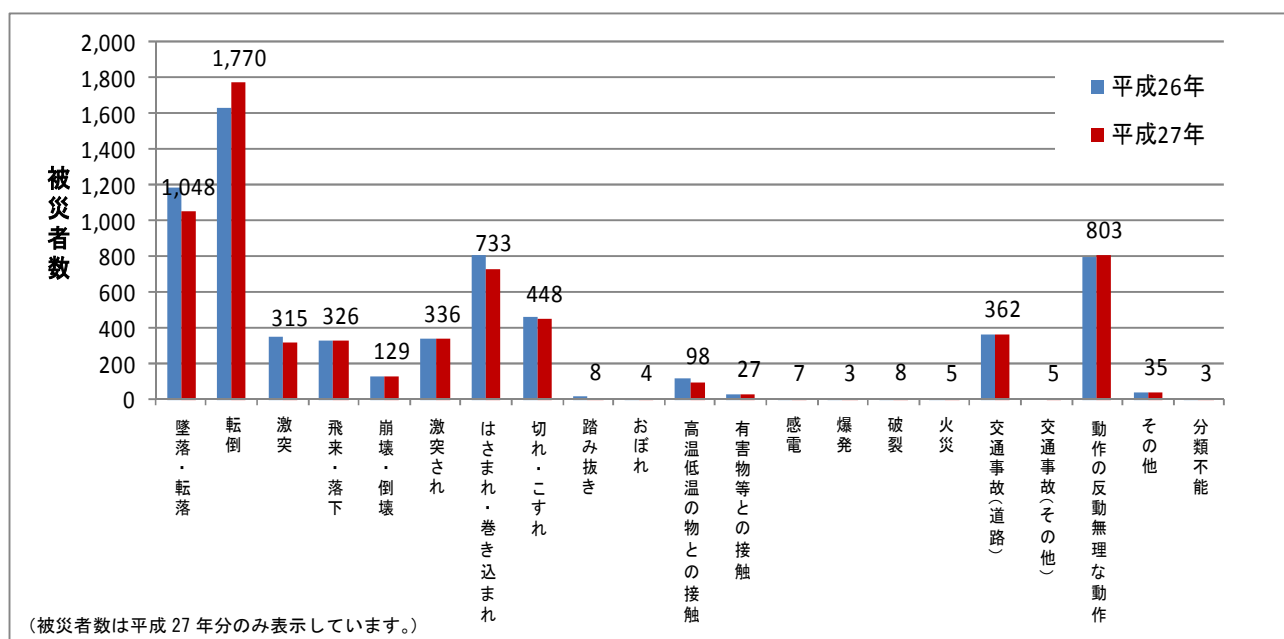
平成27年の道内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、平成28年2月末現在の速報値で6,473人と、前年同期比154人減（2.3%減）となっています。

（1）業種別の状況【資料1、2】

業種別に見ると、「製造業」が1,174人（全体の18.1%、前年同期比29人増）と最も多く、次いで「建設業」が980人（全体の15.1%、前年同期比33人減）、「商業」が918人（全体の14.2%、前年同期比25人減）、「陸上貨物運送事業」（道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業）が742人（全体の11.5%、前年同期比88人減）の順となっています。

（2）事故の型別の状況【資料6】

災害を事故の型別で見ると、「転倒」が1,770人（全体の27.3%）と最も多く、次いで「墜落・転落」が1,048人（全体の16.2%）、「動作の反動・無理な動作」が803人（全体の12.4%）、「はさまれ、巻き込まれ」が733人（全体の11.3%）となっています。



3 北海道労働局の対応

同日発表の「平成28年の北海道内の労働災害発生状況（平成28年2月末現在）」の、「3 北海道労働局の対応」欄をご覧ください。

【添付資料】

- 1 業種別労働災害発生状況
- 2 署別・業種別災害発生状況
- 3 平成27年における死亡災害発生状況[速報]
- 4 平成27年における死亡災害発生状況（その他の事業の内訳）
- 5 平成27年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
- 6 平成27年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況
- 7 死亡労働災害の概要（前月把握分）